

10月23日（金）

## アルミ缶回収の収益金を、 大杉再生募金に提供しました！



大杉の写真展最終日、大湫町より区長会長の足立亘氏と、大杉再生プロジェクト代表の小栗司氏を招いて、生徒会執行部がこれまでに得た収益金と、再生を願って作ったメッセージを両氏に手渡しました。

代表して小栗氏が、生徒たちにお礼の言葉を述べてくださいました。

「感無量です。これからも一生懸命頑張って、皆さんにまた訪ねてもらえるような場所にしたいと思います。」

「感無量」という言葉でもわかるように、北中生の取り組んできたことは生徒にとっては当たり前のことですが、その恩恵を受けた方にとっては大きな感動となりました。金額ではありません。新しく誕生した中学校が、新しく校区となった地域の一大事に優しさを発揮したのです。

このことはマスコミの注目を集めました。当日は、中日新聞、朝日新聞、読売新聞、岐阜放送、東濃新報社、そして市の広報が取材に駆け付けました。



注目を浴びた北中のアルミ缶回収ですが、課題はまだまだあるようです。今回の募金をきっかけに、今後その課題を生徒たちがどのように克服していくか、注目が集まります。